

平成20年度第2回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成20年7月2日（水）午後1時30分～午後4時

場 所 八幡中央公民館 大ホール

出席者（12名）

1号委員 阿曾美智子 荒生三雄 堀茂雄 御船孝

2号委員 後藤純子 村上三喜郎 後藤甚一 小野満洲雄 高橋知美

3号委員 田村和徳 池田善幸 後藤泉

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 松田文夫、地域振興課 永森忠嗣・御船
正周・佐藤義夫

欠席委員 佐藤善一委員 小野明美委員 土井廣委員

傍聴者： なし

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)公共施設（学校・まいづる荘等）の有効利用について

(2)観光振興について

～「玉簾の滝」を主体にした“まちづくり”～

(3)その他

5 その他

6 閉 会

1 開 会

高橋副会長 本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。それではこれより、第2回地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、佐藤善一委員、小野明美委員、土井廣委員です。会議次第に従って、小野会長から挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

小野会長 役所的に申しますと20年度に入って3か月、暦では半年が過ぎました。今は梅雨の真っ最中ですが、空梅雨の様相で、農家としては雨が不足し困っている状況です。本日は、第1回協議会での委員の発言を元に、2点に絞って意見交換をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

3 会議録署名委員の指名

高橋副会長 会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。“7番の後藤純子委員”が都合により途中退席の予定のため、今回は“8番の村上三喜郎委員”にお願いしたいと思います。村上委員よろしくお願いします。

村上三喜郎委員 わかりました。

高橋副会長 それでは早速協議に入ります。会長が議長となり協議を進めていただきます。

4 協 議

小野議長 それでは協議に移ります。今回の協議会は、前回委員から出された意見を元にした課題を中心に協議したいと思います。まず各課題についての説明を、提案された委員にお願いし、その後、皆さんから意見を伺うこととします。初めに、(1)公共施設(学校・まいづる荘等)の有効利用について、後藤泉委員から説明願います。

後藤泉委員 以前、まいづる荘を様々な団体が使用していましたが、合併後に使用中止となり、その後の市の方向が全然見えない状況です。このままでは建物の傷みが大きくなるのではないかと危惧しており、なぜ有効利用を図るために市で動かないのかと疑問を持っています。また、平成21年度に小学校統合ということですが、空き校舎となる大沢小学校及び日向小学校の有効利用を地域で考えていくことが必要だと考えています。この協議会の場でも良いアイデアがあれば出していただきたい。

小野議長 ただいま委員から説明がありました。まいづる荘等の状況について、現在どのようなになっているのか、事務局からお願いできますか。

松田地域振興課長 現在の市における進捗状況等について述べまして、その後、皆さんから意見をいただきたいと思っております。まず、まいづる荘についてですが、合併前後を通じて幾度となく関係課長会議を開催し、議論してきました。所管課長はできるだけ地域の要望を取り入れ住民の利用に供したい、という考えのようですが、条例上、開館時間が午前8時30分から午後5時までとなっており、管理人がいない状況で、中々、住民の希望に添えない面があります。次に小学校の統合ですが、大沢地区は21年度統合

で決定し、日向地区は昨日、区長会が開催され、一定の方向が決まったと聞いています。教育委員会では平成21年度に統合という方針であるため、その方向で進むものと思います。

小野議長 現状について説明していただきましたので、本議題について皆さんからご意見ををお願いします。

田村和徳委員 地域の要望を取り入れたいという発言がありましたが、これまで幾度となく会議を開いても議論の方向性及び結論が出ていない状況で、行政としては、次にどうするのかを考えて進める必要があるのではないかと。これは学校の統合でも同じです。

松田地域振興課長 本協議会は行政と委員との一問一答方式ではなく、市長へ提言することが目的だと考えますので、ご理解願います。まず、まいづる荘ですが、様々な団体から要望があると思いますので、この会議でもいろいろな意見を出してまとめてもらえればと思います。次に学校統合後の跡地等の利用については、統合の条件として地元から要望等が出るのはあり得ることで、当然、地元の意向が優先ですが、協議会でも一定の提言は可能ではないかと考えます。

小野議長 皆さんから忌憚のない意見ををお願いします。

村上三喜郎委員 この問題では、市と地域の話し合いの場が不足しているのではないかと感じています。施設は地域に任せれば有効利用も図れ、総体として管理費も少なく済むのではないかと。これからは何でも行政任せではなく、住民が皆で考え、地域が主体とならなければいけない。

池田善幸委員 学校の統合で言えば、市は地域に問題を投げ掛けたのかもしれないが、学校は生徒が学ぶ場であるとともに、地域文化の伝承の場でもあるので、単に財政の問題だけで議論するのは適当ではないのではないかと。市として地域はどうあるべきで、跡地利用はこうしたい、ということを示すなり、是非、指導力を発揮してもらいたい。

後藤純子委員 例えば、コミュニティ振興会を本協議会で勉強したり、意見交換をしましたが、結局は平成21年度に設立という市の方針で進んでおり、これまでの会議での議論は何だったのか、という思いは私もあります。ただ、市が悪いと批判ばかりしていても進歩はないので、本地域をどうしたいのか、微力ながら声を出し、意見をまとめ、市長に何度でも提言していく必要があると思います。学童保育は父兄の強い要望を受け、市の担当課も動き、ようやく実現に漕ぎ着けた経過がありますし、本件で言えば、皆でよく考え、利用について意見を出し合うべきだと思います。

後藤支所長 本協議会は市と住民とが連携し、地域を良くしていくための意見交換の場です。施設について有効利用は結構ですが、当然、維持管理の費用がかかります。その費用も含め、施設をどうしたいのかを、皆さんから議論していただきたいわけです。まいづる荘は、国の補助事業で建設したもので、正式には「酒田市農業者健康管理センター」といい、農業者の健康増進を図ることが主な目的です。合併時の協議で、施設本来の目的が整理された経過があります。それから、国の規制緩和等で、耐用年数が未経過の施設でも10年以上過ぎ有効利用が図られれば他の用途に転用が可能、という通達等がきておりますので、将来はこういうものに利活用したい、という要望がありましたら

意見をお願いしたい。また、学校についても、まずは地域の意向が優先されるわけですが、本協議会でも八幡全体の活性化のための利用について、より良い議論をしていただきたい。

小野議長 まいづる荘は10年経過しているのですか。

後藤支所長 はい。ですから、議論の時期としても良いと思いますので、是非、今後の利活用について議論していただきたい。

村上三喜郎委員 合併時に旧三町では、これだけは大事なので残し、将来につなげていきたい、というものがあつた。しかし、これまでの状況から旧市中心の考えで進んでいるように感じられます。タウンセンターの件も、本来であれば設計の前から本協議会で議論をする必要があつたと思います。

堀茂雄委員 学校は地域の財産ですが、中々他に利用しにくい面があり、維持管理の費用もかなりかかります。本協議会の意見の前に、地域の意向が優先されるのは当然だと思いますが、市の対応がどうかという前に、地域としてどう考えるのかを議論するのが筋ではないでしょうか。

小野議長 学校については地域住民がどう考えるかではないか、という意見がありました。日向及び大沢地区の委員はどうでしょうか。

後藤甚一委員 大沢小学校は21年度統合で決定していますので、空いた校舎をコミセンとして使用させてもらえるのではないかと期待しています。いかに有効に施設を使用するのか、今後、市側とも話し合いが必要だと思います。

池田善幸委員 空き校舎は取り壊さずそのままにしておけば、災害時の避難場所にもなる。将来の酒田市はどうあるべきかを考えていく必要があると思うので、協議会で議論をし、地域に帰って考えを発展させ、行動できれば良いと考えます。

後藤泉委員 本件では公共施設の利用検討委員会的な組織を立ち上げ、議論し、市長に提言する必要があるのではないかと考えています。地元・八幡地域・市全体や行政を巻き込んで考え、意見を出し合いたい。酒田市にはPTAや子ども会等が自由に使用できる“青少年自然の家”的な施設はないが、遊佐町には2つもある。交流人口を増やすためにも、是非、当八幡にそうした施設が必要だと思う。日向小学校は広さも充分なので、コミセン、ビジターセンター、鳥海まるごと交流館のような機能を持たせることは可能なのではないか。それから大沢小学校はコミセン、郷土資料館、東北公益文科大のセミナーハウスとするなどが考えられると思います。これらは八幡地域だけではなく、是非、市全体の視点で考えてもらいたい。

後藤甚一委員 旧市市街地の小学校の生徒が大沢・日向小学校にスクールバスで来て、体験自然学習をしてはどうかと考えている。

池田善幸委員 先日も、日向小学校と交流している浜田小学校の生徒が地域と一緒に来て、様々な学習活動をして行ったが、やはり良い所だから来るのだと思う。こういうすばらしい地域を我々が守って、後世に受け継がなくてはならないので、行政からも支援をお願いしたいと考えています。

村上三喜郎委員 私も将来を考え、良いものは残さなければならないと思っています。

高橋副会長 愛媛県の山奥で廃校となった小学校校舎を民宿に蘇らせ、全国から訪れる人で賑わっているという話を聞きました。実際に有効利用している地域を参考にしても良いのではないかと思います。

後藤純子委員 先ほど後藤泉委員が言われたように、地域協議会とは別の組織をつくり、話し合い、意見を深めるということに賛成です。

田村和徳委員 次の議題の“観光振興について”にもつながることですが、本件は、八幡のまちづくり、まちおこしを目指すことです。私たちは若い人がこの地に残ってくれるような、またそういう想いを抱くようなまちにしていく必要があります。地域の核は小学校であり、コミ振では地域離れが加速するのではないかと心配しています。この協議会では、もっと地域住民の意見を真摯に聴き、住民主導のまちづくりをしてください、ということをして市側に発言していく必要がある。

小野議長 皆さんからいろいろご意見をいただきましたので、(1)公共施設の有効利用については、このぐらいにしまして、次に(2)観光振興について～「玉簾の滝」を主体にした“まちづくり”～を田村委員から提案理由の説明を願います。

田村和徳委員 私が本件を話すのはおこがましいのですが、八幡の魅力は鳥海山とそれをバックにした玉簾の滝や日向川等の自然だと考えています。このすばらしい自然の良さを地域の子供たちや外の人たちに発信する必要がある。隣の遊佐町では年間40万円の予算で高校生議会をやっているそうです。私がすごいと思ったのは、この高校生たちは誰寄りも自分たちのまちのことを本気で考えているということです。逆に八幡中の生徒はどれだけこのまちを考えているのだろうかと思います。やはり八幡の良さを身近な所から伝えるのが近道ではないか、そうすると自然に、先ほどの遊休施設の有効利用法のアイデアなども出てくると思う。九州の湯布院のように、これからは、住民主導のまちづくりを目指すことが大切だと考えています。

小野議長 ただいま田村委員から説明がありましたが、皆さんからのご意見を願います。

高橋副会長 私は玉簾の滝が好きで良く行くのですが、残念に思ったことは、ライトアップ時に地元の若者の企画による大音響のシンセサイザーの演奏が、滝の自然とミスマッチに感じられました。まちづくりをするには、その自然に合っているのかどうかをまず検討して欲しいと思います。

小野議長 本日はおよそ午後4時までの予定で協議したいと思います。その他、委員からご意見を願います。

池田善幸委員 以前ライトアップ時に、夜7時から9時半までに1週間で4,000人もの来場者があった。この人たちから何とかお金を地元にとってもらえないか、ということで、当初は、売店等をやっていたが、後継者の問題等で長続きしなかった。ただ、ここが地域活性化の拠点となる可能性は大きいと思うので、何とか活かせないかこれからも考えていきたい。

後藤甚一委員 旧朝日村のタキタロウまつりのように、「玉簾の滝まつり」があっても良いのではないかと。

堀茂雄委員 観光地にはよくある商品、例えば、タオル、キーホルダー、絵はがき等が八幡にはないし、作るとすれば一体誰がやるのか、という問題がある。そうした面で、現状では観光客に対して手薄という感は否めない。

村上三喜郎委員 玉簾の滝は、市としてもせっかくの観光資源であり、活かさない手はないので、大きく育てるようにしてもらいたい。

堀茂雄委員 玉簾の滝に行ってきたという、証明になるような物が今は何も無い。

御船孝委員 先日、女性同士で最上川の舟下りに行ってきたが、乗る所、降りる所でもお土産品に溢れ、大変賑わっていた。

村上三喜郎委員 何回も言いますが、市の玉簾の滝として、今後を考えていく必要があるのではないか。

堀茂雄委員 やる気があれば、滝の近くに定点カメラを設置し、動画配信も可能だと思う。また、八幡の自然を守る基金を設け、全ての観光商品代金の何%分かをその基金に充当するなど、単に「売る」以外の発想も重要ではないか。

村上三喜郎委員 これまで地元で粘り強くやってきたので、今の玉簾の滝の賑わいがある。

高橋副会長 思うに、売店の脇に休憩所があった方が良いのではないかと。売店の中には小さくあるが、落ち着いて食事ができるような場所がない。

池田善幸委員 観光バスが来る時刻、台数等の情報が何日か前にでも入れば、準備ができるが、そうした情報は、商品の売上げの何%とかを旅行社に支払うことで教えてもらえるそうだ。駐車場において観光バスの料金を設定するが、それを無料とする代わりに、そうした情報の提供を受けるといったことはひとつの方法かもしれない。

5 その他
なし

6 閉会

小野議長 皆さんから大変すばらしい意見をいただきましたが、これらについては、今後の協議会でも議論が必要ではないかと思っております。先ほど、午後4時ぐらいまでと申しましたので、本日の意見等を集約しまして、形のあるものにしたいと思っております。第2回の協議会をこの辺で終了いたします。皆さん、ご苦労さんでした。